

# 千布小学校だより

特集号 H27.9.4  
天童市立千布小学校  
校長 江川久美子

## 全国学力・学習状況調査結果を受けて授業改善をすすめます

今年度4月21日に6年生が取り組んだ「全国学力・学習状況調査」の結果が届きました。

今年度も、国語と算数の2教科で、知識を問う「A」問題と活用の力を問う「B」問題が出題されたほか、理科と87項目から成る学習や生活習慣等に関する「児童質問紙」調査も実施されました。

結果の取扱いに関しては、山形県及び天童市では学校ごとの数値は非公表という方針です。本校でも、本調査の目的である「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる」という点を重視し、数値的な結果公表ではなく本校の総合的な結果や特徴的なところ等についてお知らせいたします。調査は6年生が受けたものですが、6年生の特徴的な傾向は、学校全体の傾向ととらえて対応していきます。課題を6年生だけのものとせず、学校全体の課題として、教職員と保護者の皆様とで共有し、改善すべきところを確認しながら取り組んでいきたいと考えているためです。

なお、6年生児童一人一人の個人票につきましては、保護者面談の折にお知らせするとともに、児童一人一人とも面談して配付する予定です。

### 【学力の状況について】

本校の6年生は、下記のように**すべての教科で全国・県平均を大きく上回る結果でした。**  
平均正答率（％）

	国語 A (知識)	国語 B (活用)	算数 A (知識)	算数 B (活用)	理 科
全 国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
山形県	70.6	63.6	73.4	42.1	62.0
本 校					

順位づけや序列化のためのものではないことから、数値の公表はしません。

特に、漢字の読み書き、計算問題などのA問題は好成績で、日頃の学習成果が上がっています。

一方、習得したことを活用する力を問うB問題も県や国の平均を上回りましたが、課題もあります。

国語では「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える問題」「目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く問題」につまずきが目立ちました。

算数は、考え方を記述する問題で、結論は分かっても筋道立てて説明するところが不十分でした。

理科は、大きく落ち込む分野はありませんでしたが、実験や観察結果から考えるところはもっと伸ばせそうです。

この結果を受けて、すべての教科で、自分の考えを書いたり話したりする学習は丁寧に行っていきます。そこでは、自分の考えを安心して表現できる学習環境も大切ですので、引き続き、学級の温かい仲間づくりにも力を入れていきます。

さらに、算数については、結果の正誤だけでなく、結果に至るまでの考え方を筋道たてて説明できるように、低学年から積み上げていきます。友達に説明する、ノートに記述するという学習活動に十分時間をとり、個に応じた指導にも心がけていきます。

右は、国語でつまずきの特に多かった問題です。ふれあい新聞の太枠に入れる記事をどのように書くかを考えて記述するのです。

出題の意図は、「目的や意図に応じて、取材した内容を整理しながら書くこと」です。これは、学習指導要領 5・6 年国語の「事実と感想、意見等を区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること」という内容が、身に付いたかどうかを確かめるものです。

取材した内容は、田中さんの 話した内容 と 表情や声の様子 があります。 部の理由として、この二つの情報を関係づけてまとめることが必要です。正答例は、「『一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれた』と、目を細めながら明るい声で話してくださいました。(64字)です。しかし、 表情や声の調子 を取り上げていない誤答があり、取材した複数の内容を整理して書くことに不十分さがあったのです。

今後の学習指導にあたっては、

**体験活動や見学における取材活動**

は目的をはっきりさせて行う。

取材した相手の話の内容や相手の様子から受ける印象、自分が感じたことや考えたことについてメモをとる指導を大事にする。

メモを読み返し、相手が繰り返している内容や相手の印象的な様子に着目して書く活動を行う。

写真資料等で振り返り、活動の様子も描写できるように指導する。

取材でインタビューした相手にとどまらず、複数の参加者に意見を求めて、多様な視点から書いたり、記事を書く根拠付けを行ったりできるように指導する。

国語に限らず、他教科や特別活動でも人に伝えるための書く活動を行います。事実の羅列に終わることのないように、上記のような指導を充実させていきます。

三 「ふれあい新聞(六月号)」の **ア** の中には、あやとりのコーナーに参加した中田とよさんの感想をのせることにしました。次の「中田とよさんへのインタビューの様子」の内容をまとめて書きます。あとの条件に合わせて書きましよう。

〔中田とよさんへのインタビューの様子〕

〔話した内容〕

あやとりのコーナーに参加してよかったわ。それはね、一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれたからなの。みなさんも準備が大変だったことでしょうね。町で会ったときにはいつでも声をかけてください。今度の案内も楽しみにして待っていますね。

中田とよさん

〔表情や声の調子〕

- ・目を細めている
- ・明るい声

〔条件〕

- 部についての理由が分かる言葉を、(話した内容)の中から「」を使って取り出し、その言葉と(表情や声の調子)の中の内容を合わせて、一文で書くこと。
- 書き出しに続けて、四十文字以上、七十文字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

次に算数の改善点です。

右は、本校で特につまずきのあった割合の問題です。日常生活の中では、20%増量、30%引きなど割合が様々な場面に用いられています。その意味を理解するためには、基準量と比較量、割合の関係を正しくとらえることが大切です。本設問は基準量を求めるのですが、数量関係のとらえ方があやふやなために誤答してしまった例が多く見られました。

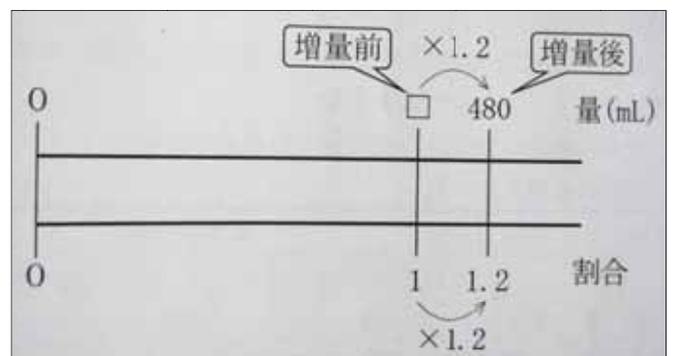
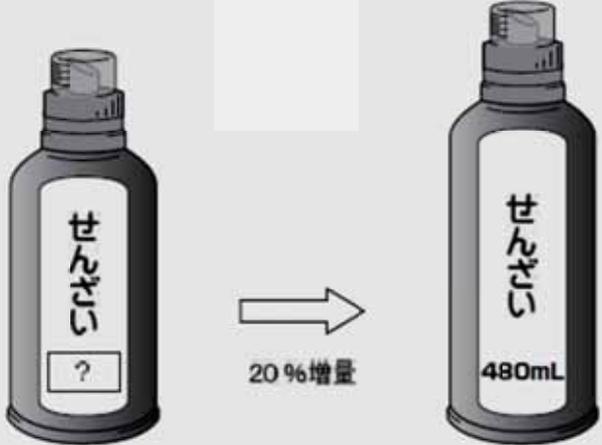
そこで例えば、増量前の量を  $x$  として、20%増量した後の量が480mLであることを右のような数直線を使うことで数量関係が整理されて考えやすくなります。授業では、

図や数直線に表すことを通して、

「 $x$  の1.2倍が480だから式は  $x \times 1.2 = 480$ 」  
というように数量関係を整理してとらえ、説明できるように指導する。

数直線を用いての数量関係の理解はどの学年でも学習するので、自分で数直線を書きながら考える学び方を指導し、生活に活用できるようにする。

(2) 次に、せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は480mLです。  
増量前のせんざいの量は何mLですか。求める式と答えを書きましょう。



また、右の図形分野の問題も課題が残りました。実際の問題用紙には、この設問の前に1ページ半にわたる図入りの説明があります。問題を解くだけでなく、問題文や図を読解する力も必要です。ここで求められる力は、示された考えを基に、根拠となる事柄を過不足なく説明する力です。

誤答の中には、根拠が不足していたり、「アとイは等しい。ウとエも等しい。だからオとカも等しい。」  
というように、オとカがそれぞれ等しい面積に分けられた図形どうしを合わせた図形であることの記述が抜けているものがあります。

算数は、前提となる考えや理由などの根拠を明らかにして、筋道を立てて考えるのを楽しむ学習です。図形分野でも、生活の中の多様な図形を取り入れながら、筋道立てて考え、話したり書いたりする指導をしていくことに力を入れます。

長方形を組み合わせた図形は、図4のように、オとカに分けることができます。

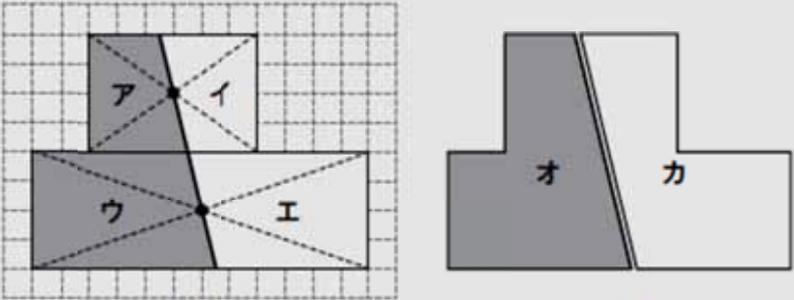


図3 図4

このようにすると、オとカの内積は等しくなります。なぜ、オとカの内積が等しくなるのですか。  
そのわけを、言葉や数、アからカまでの記号を使って書きましょう。

## 【学習や生活の状況について】

児童質問紙による学習や生活状況（学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面）調査の結果、本校児童が、国や県の傾向を大きく上回っていた項目が次のものです。

友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。

将来の夢や目標を持っている。

家の人と学校での出来事についてよく話をする。

家で、自分で計画を立てて勉強をしている。

家庭学習の習慣が身に付いている。

学校に行くのは楽しい。

自分の学級では学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めている。

学級みんなで協力して何かをやり遂げてうれしかったことがある。

テレビのニュース番組やインターネットのニュースをよく見る。

学校の決まりを守っている。

人の気持ち分かる人間になりたい。

いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う。

人の役に立つ人間になりたい。

5年生までの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた。

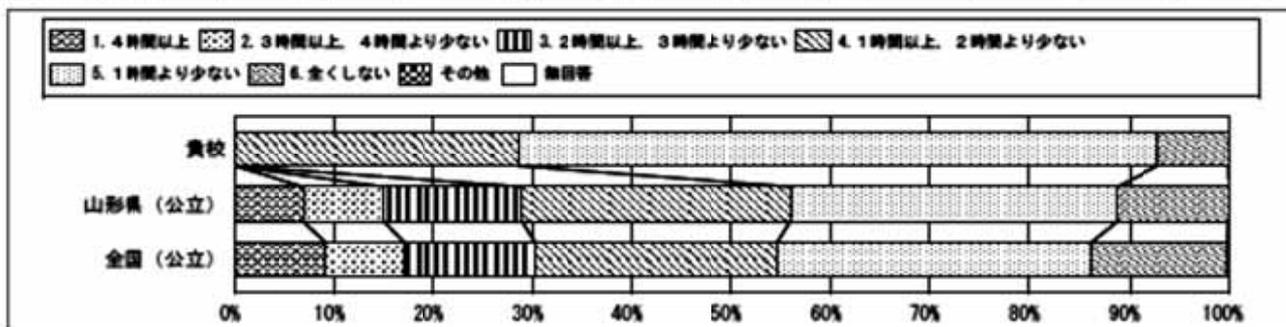
5年生までの授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた。

5年生までの授業では、学習のめあてとまとめを書いていた。

学級の友達との話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。

他に、PTAでも取り組んでいただいている節度あるゲーム利用についても下のような結果でした。

質問番号	質問事項									
(11)	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	0.0	0.0	0.0	28.6	64.3	7.1			0.0	0.0
山形県（公立）	6.9	8.0	14.0	27.0	32.9	11.2			0.1	0.0
全国（公立）	9.1	7.9	13.2	24.4	31.6	13.7			0.1	0.0



このように全国や県より有意に上回っている項目が多数あり、下回っている項目はほとんどありませんでしたが、気になる項目が1つありました。

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

寝ている子が半数以上でしたが、そうでない子も少なくなく、改善点です。

学力には、日頃の生活や授業態度が深く関係していることがはっきり分かる結果でした。子どもたちがたくましく生きる力を伸ばすために、学校では授業改善の努力をしまいにします。ご家庭におかれましても、子どもの基本的な生活習慣形成や温かい励ましをどうぞよろしくお願いいたします。